

春日山原始林保全に関わる検討・事業進捗状況

資料0

H23 年度

○基礎調査の実施
【既往文献等知見の整理、大径木調査(173本確認)、ギャップ調査(16箇所確認)】

H24 年度

○基礎調査の継続
【既往文献等知見の充実、大径木調査の継続(計369本確認)、ギャップ調査の継続(計64箇所確認)】
○後継樹生育環境調査手法の検討

2/8 第1回春日山原始林保全計画検討委員会
議事 ①春日山原始林の現況と課題整理について ②春日山原始林の保全手法について
まとめ ・ナラ枯れ対策については、緊急を要する保全対策として位置づける
・春日山原始林とシカの共存については、植生保護柵の設置を前提に検討していく
・生育環境条件調査の充実する

ヒアリング、文献等調査

○後継樹生育環境調査の実施
【森林更新の状況を代表する林分に調査プロット設置(16箇所)地形条件、植生、採食・剥皮状況、土壌水分条件、光条件等を確認】

○緊急を要する保全対策の実施
・ナラ枯れ対策の実施
・実証実験(植生保護柵の設置)に向けた取り組みの実施

3/18 第1回部会
議事 ①花山・芳山地区の保全・利活用の考え方について
②檜皮採取試行実験について

H25 年度

○実証実験箇所(植生保護柵設置箇所)の抽出
【設置箇所数、数量、型式等の検討】

3/20~4/16 檜皮採取実験の実施

4/26 第2回春日山原始林保全計画検討委員会
議事 ①春日山原始林保全の基本的な考え方と保全方策(案)について ②実証実験計画(案)と緊急を要する保全方策について ③その他
まとめ ・植生保護柵の設置目標面積について検討を行う
・下層植生の保全も勘案し、植生保護柵設置のあり方を検討する
・植生保護柵の型式には、実証実験という考え方で柔軟に検討し設置すべきである
・外来樹種の駆除方法は、参画の方法も併せて検討すべきである

■春日山原始林保全方策の検討
○保全対策実施面積(目標値)の検討
・土壌水分条件、光条件等、既往調査結果との比較検討
・実証実験箇所の現況把握
○基本計画(素案)の策定
・基本計画(素案)の検討 ・人工林活用計画(案)の検討
・保全方策の執行体制と多様な主体の参画のあり方の検討
○今後の検討課題の整理
・第3回保全計画検討委員会以降のスケジュールの検討

■実証実験の実施
○植生保護柵 実施設計
○現状変更申請
○植生保護柵の設置
・第2回検討委員会で提示した実証実験実施箇所(16箇所)のうち、5箇所において植生保護柵を設置(8月末設置完了)

9/4 第3回春日山原始林保全計画検討委員会
議事 ①平成25年度実証実験の進捗状況について ②春日山原始林保全計画 基本計画(素案)について ③今後のスケジュール

10/7~11/8 檜皮採取実験の実施

○基礎情報の充実調査
・下層植生フロラ調査
・外来樹種侵入状況調査
○実証実験の検討調査(継続)
・第1次設置箇所の設置手法の検討
・次期実施箇所の検討

4/11 第4回春日山原始林保全計画検討委員会

2/19 第2回部会
議事 ①花山・芳山地区の保全・利活用について ②檜皮採取実験結果報告 ③その他地域での檜皮採取の可能性について ④今後のスケジュール

H26 年度~

継続的な保全・再生事業の展開
○基礎調査の充実 ○保全計画(実施計画)・マニュアルの策定 ○実証実験の実施(継続)